

令和6年千葉市教育委員会会議  
第1回定例会会議録

千葉市教育委員会

# 令和6年千葉市教育委員会会議第1回定例会会議録

日時 令和6年1月17日(水)  
午後2時00分開会  
午後2時33分閉会  
場所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 鶴岡 克彦  
委 員 小西 朱見  
委 員 藤川 大祐  
委 員 竹田 賢  
委 員 高津 乙郎  
委 員 大山 尋美

出席職員 教 育 次 長 秋幡 浩明 学 校 施 設 課 長 堀 明德  
教 育 総 務 部 長 香取 徹哉 学 事 課 長 長谷川 信  
学 校 教 育 部 長 川名 正雄 教 育 指 導 課 課 長 補 佐 石毛 実  
生 涯 学 習 部 長 齋木久美子 教 育 支 援 課 長 保田 裕介  
学校教育部参事(教育改革推進課長事務取扱) 伊藤 淳 保 健 体 育 課 長 酒井 隆夫  
中 央 図 書 館 長 佐久間仁央 教 育 セ ン タ ー 所 長 細川 義文  
総 務 課 長 山田 利雄 養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長 小谷 泰也  
企 画 課 課 長 補 佐 塚田 隼人 生 涯 学 習 振 興 課 長 内海 豊  
教 育 職 員 課 長 吉田 悦子 文 化 財 課 長 君塚 常行  
教 育 給 与 課 長 松永 信隆 総 務 課 総 括 主 幹 松木ゆうき

書 記 総務課総務班主査 猪飼 恭平 総務課主任主事 小坂 由希

1 開会

鶴岡教育長より開会を宣言

2 会議の成立

全委員の出席により会議成立

3 会議録署名人の指名

鶴岡教育長より小西委員を指名

4 会期の決定

令和6年1月17日（1日間）とすることで全委員異議なく決定

5 議事日程の決定

議事日程を全委員異議なく決定

6 議事の概要

(1) 報告事項

報告事項(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について  
酒井保健体育課長より報告があった。

報告事項(2) 若松公民館の第76回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について

内海生涯学習振興課長より報告があった。

報告事項(3) 千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

内海生涯学習振興課長より報告があった。

(2) 発言の要旨

報告事項(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について  
鶴岡教育長 報告事項(1)「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」、保健体育課長、説明をお願いします。

酒井保健体育課長 報告事項(1)「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」ご報告します。

本調査は児童生徒の体力、運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、体育・保健体育や健康等に関する指導の改善に役立てることを目的に実施されている国の調査です。

対象は小学校5年生と、中学校2年生の児童生徒です。

内容は実技に関する調査と、質問紙調査があり、実技に関する調査は、小・中共通種目として握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、投力を測るものとして小学生はソフトボール投げ、中学生はハンドボール投げの計8種目を実施しています。

また、質問紙調査は、運動習慣や生活習慣に関する内容を児

児童生徒が質問紙にて回答する調査になっています。

「2 結果」をご覧ください。全国と千葉市の平均値を種目ごとに掲載しています。全国平均を上回っているものには白丸、下回っているものには黒丸を記載しています。

表の一番下の欄にあります、体力合計点とは、各種目を10点満点で点数化した8種目の合計の得点です。

千葉市の児童生徒の体力合計点は、小中学校男女全てにおいて全国平均を上回っています。

なお、その下の参考にあります、体力合計点の順位については、政令指定都市のうち、本市は小学校5年男女ともに3位、中学校2年男子が3位、女子は1位という結果でした。

2ページをご覧ください。体力合計点の昨年度との比較です。表の一番下の欄にあります、体力合計点は、小学校女子以外は上回っています。

なお、参考としてコロナ禍以前との比較をするために、令和元年度のデータも記載しています。令和元年度と比較すると、多くの種目が下回っており、体力が低下している傾向が見られます。

3ページをご覧ください。考察の2つ目に記載していますが、今回良好な結果であった主な要因としては、学校への質問紙調査において、小中学校ともに体育・保健体育の授業において「目標を児童生徒に示す活動や学習したことを振り返る活動を取り入れている割合」、「児童生徒同士が助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れている割合」、「児童生徒同士が話し合う活動の割合」が全国平均を上回っていることから体育・保健体育の授業の充実が図られているものと考えています。

今後の対応ですが、学校においては引き続き、体育・保健体育の学習等で体力の向上が図れるような取組みを推進して参ります。また、教員の指導力向上に向けて、教科主任を対象とした研修会や、学校訪問等を通じて指導助言を行うとともに、各学校の体力向上に向けた取組みの好事例等を市内に紹介して参りたいと考えています。

4ページをご覧ください。児童生徒への質問紙調査結果の一部です。「運動やスポーツをすることが好きか」の問いに、小学校男子、中学校は男女ともに「運動やスポーツをすることが好き又はやや好き」と回答した割合は全国平均を上回っています。

考察をご覧ください。その要因としましては、小中学校ともに学校への質問紙調査の、「体育・保健体育の授業で大切にしていること」との問いで、「体を動かすことの楽しさを実感させ

る」が、全国平均を上回っており、このようなことが児童生徒の運動に対する興味・関心や楽しさに繋がったのではないかと考えられます。今後の対応として、体育・保健体育の授業において、運動の楽しさを味わわせるために、児童生徒一人一人の実態を的確に把握し、授業等の改善・工夫をより一層促進できるよう、教科主任研修会や各種実技研修会、学校訪問等による指導を充実させて参りたいと思います。

5ページをご覧ください。「運動部活動の状況」です。こちらの表には活動時間が分単位で記載されています。「千葉市運動部活動ガイドライン」で示している目安の活動時間として、「平日2時間程度」「休業日3時間程度」というものが示されていますが、概ね守られています。今後の対応としまして、「千葉市運動部活動ガイドライン」に基づいて、生徒の健康・安全面により留意した運動部活動運営ができるよう、各学校の状況把握や指導に引き続き努めて参ります。また、管理職、保健体育主任、各競技の種目専門部委員長等が集まる会議や研修会の場において、適切な運動部活動運営について指導して参りたいと考えています。報告は以上です。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

藤川委員 ご説明ありがとうございます。各学校の先生方のご尽力並びに児童生徒の皆さんの積極的な取り組みによって非常に良好な結果となったこと、大変ありがたく思っています。お願いを1点と意見を1点申し上げます。お願いは、質問紙調査についてあまり資料にご報告がないのですが、結果としての体力の数値だけではなくて、どのような状況で取り組みをなされているのか知ること重要だと思いますので、差しさわりのない範囲でぜひ質問紙調査についても今後はご報告いただけるとありがたいです。

もう1点、意見です。5ページの今のご説明の中で、「千葉市運動部活動ガイドライン」の「平日2時間程度」「休業日3時間程度」という基準が概ね守られているということを説明していただいたのですが、千葉市のガイドラインでは、平日に1日、土日に1日の休養日を設けるということがあったはずですが、確認しましたが、ありますよね。

酒井保健体育課長 はい。

藤川委員 これを計算しますと、平日は2時間掛ける4日、分でいうと480分、月曜日から金曜日までの合計480分であれば概ね守られているということになると思うのです。また、土日については、3時間掛ける1日なので、土日合わせて180分であれ

ば概ね守られているという話だと思っております。ところが表を見れば明らかなように、それぞれの今の計算よりはかなり多い数字になっているわけです。そして、全国との比較でも、千葉市の令和5年度男女ともに、全国平均の週当たりの活動時間よりは150分程度ずつ長いわけですね。この状況で概ね守られているというような資料を出してしまって、これを報告としてしまうのは、非常にまずいのではないかと、むしろ、千葉市においてはコロナ禍があったにも関わらず、また活動時間が増加傾向にあり、全国との差も開いていて、部活動の時間の見直しが必要ではないかと、という議論をしなければいけないのではないかと、と思いますが、もし何かあればお知らせください。以上意見です。

酒井保健体育課長 まず、児童生徒の質問紙調査の結果については、次年度以降の本会議等で適切に情報提供できるようにしたいと考えています。ありがとうございました。

先ほどの運動部活動の活動時間ですが、こちらの調査は、質問紙の中では、曜日ごとの活動時間を生徒が記載する形態をとっています。ですので、まず、曜日ごと平日の活動時間を見ますと、いずれもどの曜日も概ね120分を超過していないという状況です。また、土曜日、日曜日それぞれの活動時間についても、3時間、つまり180分を超えていないという状況です。

生徒がどのように回答をしたかというところなのですが、休養日を平日1日、土日で1日取っているということはどの学校も概ね実施しておりまして、週によって休養日が異なったりしますので、生徒にとっては、これまで活動している曜日にだいたい何分活動しているかという回答をしているので、休養日を踏まえていないのではないかと推測されます。私どもの方でガイドラインの実施状況、遵守状況の調査をしたところ、ほとんど守られているという状況で、平日については100%守られているという回答を得ていますので、こういう調査の結果ではあるのですが、恐らく生徒が回答する時に曜日ごとの記入欄に休養日を踏まえないで時間を入れていることも推測されるのではないかなというところではあります。

藤川委員 ご説明ありがとうございます。仮に生徒の回答が不正確だとしても、例えば令和5年度の金曜日の女子の平均は120分を若干超えています。ということは、少なくともある程度の割合の生徒

が2時間を超えた数値を書いているわけですよ。つまり、2時間を超えて活動がなされているというような認識が生徒の側にはあるということだと思っております。ということはむしろ、先生方への調査で100%守られているということが事実だとしても、それがもしかしたら生徒との意識の乖離があるという可能性もありますよね。そして、いずれにしても、同じ調査方法で調査をして、全国との開きが150分あるわけですよ。2時間半ですよ、週当たり。この開きはやはり深刻に受け止めるべきだと思いますので、先生方への調査でガイドラインが守られているということに安心せずに、生徒の自覚であるとか、あるいは全国との差であるとかそういうことについてよく確認をし、必要な修正をしていく必要があるのではないかと思います。以上意見です。

酒井保健体育課長 ありがとうございます。改めて、結果等を精査して今後の調査に活かして参りたいと思います。ありがとうございました。

藤川委員 よろしくお願ひします。

高津委員 今の運動部活動の状況ですが、土日は、普段の練習だと3時間ですが、特に私が関係している陸上競技は、例えば5月はほとんど試合なのですよね。試合だとだいたい朝7時、8時に来て、16時、17時に解散となりますから、恐らく3時間を超えるということもあり、平均すると陸上競技ではやはり土曜日の活動時間が大きくなってくる。競技によってだいぶ違うとは思いますが、そういう状況もあるのではないかと思います。意見です。

酒井保健体育課長 ご意見ありがとうございます。働き方改革の一環でのガイドラインですので、こちらでも調査している段階で、例えば今高津委員がおっしゃったように、日曜日丸一日大会があったですとか、土日2日間活動が続いたということであれば、その分は必ず別の日に休養を取るということで、指導は徹底していますので、引き続き学校の現状等も踏まえながら適切な指導をして参りたいと思います。ありがとうございました。

報告事項(2) 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について

鶴岡教育長 報告事項(2)「若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について」、生涯学習振興課長、説明をお願いします。

内海生涯学習振興課長 若松公民館が文部科学大臣表彰「第76回全国優良公民館表

彰」を受けることが決定しましたので報告します。

議案書 7 ページをお願いします。

「1 表彰の趣旨」ですが、全国の公民館などの社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として、文部科学大臣が表彰しています。今回は2月9日に69館が表彰されます。

「5 被表彰に至った経緯」ですが、地域の実情に応じ、地域住民の学習活動の支援や地域の問題解決に資するため、積極的に現代的な学習テーマや取組内容について、学習内容を深めるための取組手法により、多様な利用者の参加促進のための学習環境の整備に取り組み、かつ事業の成果等について自己点検・自己評価を行っている実績が評価されました。

「(2) 主な取り組み内容」ですが、坂月川の美化活動や保全活動を行う「坂月川愛好会」と連携して、「坂月川親子生き物教室」を開催しています。講座に参加した親子が自然のすばらしさや環境保護に対する知見を深め、地域への愛着を持ってもらえるよう、毎回プログラムの見直しなどを行っています。

令和2年度には「子どもお菓子作りリーダー養成講座」を6回開催、若松公民館だよりを近隣の4つの小・中学校の全生徒、約2,200人への配布を行うなど、公民館が子どもたちにとって身近な施設となるよう努めています。

8 ページをお願いします。

また、「サークルの創設を目指した連続講座」の開催や、広報活動に力を入れており、公民館を利用したことのない方から講座の企画が持ち込まれるようにもなりました。今後も地域人材の発掘や、子どもを介した若い世代の取り込みを行うなど、公民館や地域のさらなる活性化に努めて参ります。報告は以上です。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

藤川委員 ご説明ありがとうございます。大変素晴らしい取組みがこのように表彰されて感謝申し上げます。ありがとうございます。特に素晴らしいと思うのが、社会教育というのは市民の方がリーダーシップを取って自分たちで学びあえるような形を作っていく



ことが重要と思われるわけですが、リーダーを積極的に育成する取組みをされていると感じました。1つ質問なのですが、千葉市の公民館それぞれ様々な努力をされていると思うのですが、特にこの若松公民館が表彰まで至ったということについて、若松公民館特有の状況、あるいは取組み、あるいは背景など何かあるのでしょうか。何か参考になることがあれば教えてください。

内海生涯学習振興課長 まず、若松公民館に配属されている社会教育主事の資格を持つ公民館主事の力が大きいと考えています。また、それだけではなくて、坂月川愛好会など積極的な地域の方々もたくさんいらっしゃることで、これも大事だと思っています。この公民館主事の方が、そのような方々とうまく連携した活動をしているということが大きく、今回の成果になったのではないかと思います。こちらの方たちや、公民館もそうなのですが、公民館が一番身近な公共施設として親しみやすい雰囲気づくりと丁寧・親切な対応を心がけています。今回、文部科学大臣の表彰を受けるということは、職員や地域の方々の今後の励みとなると思います。これを全公民館に成功事例として共有することによって、他の公民館に対しても良い影響を与えることができるのではないかと考えています。以上です。

藤川委員 ありがとうございます。よろしく申し上げます。

竹田委員 県内で1館だけということで、大変素晴らしいことだと思います。県内の公民館はどのくらい数があるのですか。

内海生涯学習振興課長 令和3年度現在にはなりますが、まず全国には1万3,798館あります。その中で千葉県は283館、千葉市はその中で生涯学習センターを除く47館というような状況となっています。

竹田委員 確率が低いというか、すごいことなのですね。ちなみに、文部科学省は活動の背景とか取組みはわからないから、文部科学省から県の方に募集が降りてきて、県から地方自治体の方にまた募集が降りてくるわけですか。

内海生涯学習振興課長 千葉県内の各市町村の教育委員会が、千葉県の教育委員会に推薦という形で申し出をします。千葉県の教育委員会は、公民館を2館以内、また、公民館以外の施設を1館以内として、上限3館、それを文部科学大臣に対して推薦をします。そして文部科学大臣が内容等を見て表彰に当たるかどうか決定します。

竹田委員 厳しいわけですね。ありがとうございました。

### 報告事項(3) 千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

鶴岡教育長 報告事項(3)「千葉市家庭教育支援チーム『こもんず』の文部科学大臣表彰の受賞について」、生涯学習振興課長、説明をお願いします。

内海生涯学習振興課長 生涯学習振興課です。千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が、令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けることが決定しましたので報告します。

議案書9ページをお願いします。

「1 表彰の趣旨」ですが、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展および認知度の向上に資するため、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものです。

平成29年度から隔年で実施されておりました、今回は2月9日に20活動が表彰されます。

「4 被表彰活動内容」ですが、千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」は、平成20年度に結成され、子育てサポーターや臨床心理士、民生委員、児童委員など、8人の方々に構成されています。活動拠点は園生小学校、活動地域は小中台中学校区です。

「5 被表彰に至った経緯」ですが、子育てに関する学習機会の提供、子育てに関する悩みや家庭教育の相談の対応、新たな地域人材の養成など、その活動内容が他の活動と比較して顕著に優れていて、地域全体への普及効果が高いと認められ、当該地域における家庭教育支援活動の推進に効果をあげていることが評価されました。

「(2) 主な取り組み内容」ですが、「地域における家庭教育基盤形成」を自分たちの地域の課題であると位置付け、子育て学習講座として「子育て親育ち講座」の開催、子育てに関する悩み相談に対応する「こもんず広場」(子育て井戸端会議)と「こもんずカフェ」(個別相談)の開催、子育てに関わる地域人材などの情報

収集・ネットワーク化などを行っています。

また、公民館と連携して成長期の女の子の心と体の変化について知る「ツボミスクール」や、性教育講座などを意欲的に開催しています。

この他にも、資料には記載しておりませんが、文部科学省作成のリーフレット「つくろう！家庭教育支援チーム」などにおいて、活動事例として紹介されているほか、令和4年12月には内閣官房子ども家庭庁設立準備室により開催された「子どもまんなかフォーラム」にパネラーとしても参加し、活動紹介を行っています。

報告は以上です。

大山委員 ご説明ありがとうございます。まず、「こもんず」さんの表彰の推薦を上げられました生涯学習振興課にお礼を申し上げます。

「こもんず」さんは、活動もすごく活発にされているので、表彰されるのももっともだなと思っています。長年生涯学習振興課が支えてらっしゃいましたので、お疲れ様です。質問なのですが、家庭教育支援チーム、6区あるうち、活動しているのは3か所ですかね。これは何か意味があるのでしょうか。以前から6区あるうちのなぜ3区だけなのかすごく不思議に思っていて、おわかりでしたら教えてもらいたいと思います。

内海生涯学習振興課長 家庭教育支援チームは、行政が作って構成メンバーを集めるのではなく、基本的に自主的な活動という形になります。自主的に自分たちの地域の子どもたちのために活動されるということが大きいのと、やはりいろいろな個別相談などを受けるので、構成メンバーは、臨床心理士や、保育士であったり、そういう資格を持っている方が重要でなかなか人材確保というのが難しいという状況で、本当はもう少し市内の各区に広げたいのですが、このような状況になっています。

大山委員 ありがとうございます。あと、今後のお願いなのですが、せっかく公民館と連携しての性教育講座をやってらっしゃるのですが、今女子の方だけなので、今後、個別でもいいのですが、男子も同じようにやってあげられればいいのかと思うので、ご検討していただければと思います。よろしくお願いします。

内海生涯学習振興課長 ありがとうございます。

藤川委員 本当に素晴らしいことでありがたく思っています。基礎的な

知識を教えてもらいたいのですが、家庭教育支援チームというのは、文部科学省が制度を作っているのかと思うのですが、制度のごく簡単なあらままと、それから千葉市として家庭教育支援チームに関してどのような取組みをされているのか教えてもらえますでしょうか。

内海生涯学習振興課長 家庭教育支援チームの前に、家庭教育基盤形成事業というものがあります。その事業がどういったものか、背景にあるものはどういったものかといいますと、都市化、核家族化、地域における地縁的なつながりの希薄化などによって家庭教育自体が困難になっている状況が現れている中で、社会全体で家庭教育支援の必要性が高まっています。そのため、先ほども言いました身近な地域において子育てを経験された子育てサポーターを始めとする多様な人材で構成する家庭教育支援チームを設置しまして、悩んでおられる方もいらっしゃいますし、必要な情報が入ってこないということもありますので、情報や学習機会の提供、相談体制の充実を始めとするきめ細かな家庭教育支援を行うことによって、その地域全体で、家庭教育を支えていきたいと思いますということを目的として事業を行っています。

千葉市としては、生涯学習振興課に今、校長先生のOBがいるのですが、校長でいた時に蓄積した知識などを活用し、家庭教育支援チームの活動に対し助言などを行っています。

藤川委員 ありがとうございます。

## 9 その他

第2回定例会は、令和6年2月5日（月）に開催することと決定した。

## 10 閉会

鶴岡教育長より閉会を宣言